科目名	命の尊厳					開講 キャンパス	神園
担当者	井本浩之						
開講年次	1	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選択
授業の概要 及びねらい	時代や社会が生み出した生命倫理に関する様々な課題についての知識・理解を手に入れる。授業は全体を3つのパートに分けて進める。1) 生命の誕生にまつわる倫理的問題(人工授精、卵子提供、代理出産など、生殖技術のもたらした新たな生殖をめぐる倫理的問題等)。2) 死にまつわる倫理的問題(脳死や尊厳死、医療技術と人間の終末期をめぐる問題)。3) 心身問題について(科学的な心身理解と哲学的な心身理解)。授業時には班別ワークを実施し、解決不能と思える倫理的な問題に切り込む方法論の修得をはかる。						
授業の 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会や時代学生み出した生命に関する新たな議論フィールドで、課題を認識し、自ら考え、課題解決に向け努力し続ける力を修得すること。 ・解決不能と思える問題に切り込む方法論を身につける。 						
学習方法	講義、グループディスカッション						
テキスト及 び参考書等	ノート講義にて行う。参考書は授業時に適宜指示する。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	○	○	○	○		50
授業態度				◎			20
受講者の発表	○	○	◎	◎	◎		10
授業への参加度				◎	◎		20
その他	定期試験による評価は行わない						
合計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画(学習内容・キーワードとスケジュール)							
第1週	オリエンテーション(授業内容と方法論について)						
第2週	問題解決に向けて(PBLの実際)(班別ワーク)						
第3週	生殖補助技術の革新(技術の介入によって生殖活動に生じた変化を知る)						
第4週	生殖技術の問題点(新しい生殖のあり方にまつわる諸問題について知る)レポート						
第5週	生命の選別(生殖技術がもたらした新たな妊娠中絶の問題について考える)課題演習(班別ワークによるPBL)						
第6週	新しい死の概念(脳死や尊厳死について知る)						
第7週	医療技術がもたらした人間の終末(新しい死によって生じた変化を知る)レポート						
第8週	新しい死の問題点(新しい死がもたらした諸問題について考える)課題演習(班別ワークによるPBL)						
第9週	心と体についての日常的理解						
第10週	心と体についての科学的理解						
第11週	心と体についての哲学的理解Ⅰ(デカルトの心身論理解)						
第12週	心と体についての哲学的理解Ⅱ(デカルトを超えて)レポート						
第13週	課題演習・・・身近な問題から(心の在りかについて考える)(班別PBL)						
第14週	全体討論「命の尊厳とは・・・日常、科学、哲学」(発展的理解)						
第15週	まとめと振り返り						
第16週							
備考	【課外学修について】授業後にノートを完成させること。次回までのレポート、討論準備を行うこと。 【受講者数制限】班別ワークをおこなうので、50名以下に限定する。						